



### ごっこ遊び(お人形 ままごと)

ごっこ遊びでは、子どもなりに場面をイメージしながら遊ぶため、想像力や発想力を育み、「もっとこうしたい」と思いながら試行錯誤する姿も見られます。ままごとでは「ごはんのじかんよ♪」「ねるじかんよ」と家庭を再現したり、お医者さんごっこをする子もいます。その中で言葉のやりとりの中で言葉を理解し、伝える力や気持ちを共有し、他者を思いやることにもつながっています。包丁の持ち方を知っている子もいて、「ひだりてはネコのとだよ」と話す姿から、ご家庭でお料理体験している様子が目に浮かぶこともありますよ。



### レゴブロック遊び

・記憶力、思考力、集中力が向上する  
 「〇〇を作ってみよう」「ここをつなげよう、重ねよう」と考えながら想像力、創造力を養う。  
 保育園ごっこやおうちごっこに展開する姿も見られます。言葉のやりとりをしながら創造力を共有し合い、楽しめます。  
 お友だちと一緒に一つのものを作ることで「こうしようよ!」と様々な意見が出てきて「それいいね!」と意見を受け入れる姿も成長の1つです。



### トランプ遊び

・読み手の声を聞き、取るべき札を予想する力(記憶力・想像力) 文字を読む力、札を素早く探して取る力(反射神経)が自然に身につく。  
 異年齢でおこなう中で、年上児が読み手となり、楽しむ姿や、繰り返し楽しむ中で、絵を覚え、言葉を覚え、文字への興味から自然とひらがなを読めるようになっていきます。ひらがなに興味を持つようになると、様々なかるたに挑戦したり絵本の楽しみ方も変わってきますね。

## 3 歳児のあそび

### 遊びの中での学び・成長



### パズルあそび

想像力、集中力、記憶力が身につく。  
 ピースの大きさや数を様々な物を用意し、自分の好きなイラストのパズルに挑戦したり、小さい数の多いパーツに挑戦し、完成図を想像しながら挑戦しています。  
 できた!という思いから自信や達成感にもつながっているようにも感じます。



### 感触あそび(粘土あそび)

手先の発達、想像力、ヘラなどを使うことで思考力、お友だちと一緒に作ったり、作ったものを伝え合うことでコミュニケーション能力が身につく。道具を使ってお料理をしたり、物をイメージして、手先をつかって形を整えながら、形を想像し、作成する。カレーには〇〇が入っているね、パンケーキにはフルーツを乗せようなど子どもたちの感性や発想力は素晴らしいです!

### ラキューあそび

3歳児のお子さんはパーツをくっつけていき、一つの長い棒にしたり、くっつけることを楽しみながら集中して取り組む姿が見られます。本を見て形を創ることは難しいですが想像力を活かし様々な形をつくっています

異年齢で過ごす中で、年上のお子さんが楽しく遊ぶ姿を見て、興味をもち、手先を使って楽しむようになりました。



戸外活動は異年齢で取り組む中で、ルール  
 の理解が見られ、楽しむ姿が見られます。

※内容はたいよう組に記載